

鈴蘭とクリンソウの湿原を行く入笠山ハイキング

6月17日(金)6:30にグリーンホールを出発。一路長野県諏訪郡に向かった。初めての平日開催、バス1台の企画のため、参加者数には多少の不安もあったが、募集40名に対して希望者は約70名となり、抽選漏れの方には誠に申し訳ない結果となった。

参加者の平均年齢は68歳、男性11名に対し女性は28名と昨今の世の中を反映したメンバー構成である。体協からの随員は6名であった。

梅雨まただ中の開催で前日は終日雨、当日も曇り空のスタートだったが、長野県に入るところから晴れ間がのぞき、終日まずまずの天候であった。

富士見町の山麓駅からゴンドラにて山頂駅へ、背後には八ヶ岳の稜線、正面には緑いっぱいの入笠山の山林を楽しんだ。山頂駅からは標高1,800mの入笠山湿原の木道を散策、鈴蘭やハナショウブ、レンゲツツジ、クリンソウの咲き乱れる花畑に行く。鹿や熊が入り込まないよう各ポイントに柵と木戸が設けてあり安全性にも配慮されたコースである。

山彦荘前で休憩の後は岩場の登りコース、お互いに注意しながらゆっくりと山頂へ。11時過ぎには山頂(海拔1,955m)に到着。雲の中で見えたり見えなかったりの八ヶ岳山麓の景色を楽しみながら昼食。

皆さん明るく元気で、山頂での記念写真では最高の笑顔が揃った。さて下りは、沢入登山口まで山林道、湿原歩き。さすがに高齢者には下りの方がきつかったようで、登山口近くまで来て数人に足や膝のトラブルが発生、随員の出番となった。

バスは山麓駅から沢入登山口に移動、待機しており、全員乗車して富士見町の温泉施設「ユートロン水神の湯」でたっぷりのお風呂タイム。氷水やビールなど思い思いの湯上りを楽しんだ後、一路板橋へ。平日とあつて行き帰りとも渋滞はゼロ、快適なバス旅行だった。

帰路で皆さんに感想を伺ったところ、コース設定と歩行ペース、温泉、平日実施、少人数の順で満足度が高く大好評であった。コース設定についてはきつかった人、物足りない人が若干名あったが、年齢、身体強度に個人差があるので今後の参考にしていただきたい。ともあれ、天候に恵まれ事故もなく、楽しいハイキングとなったのは参加された皆さんの仁徳か？

お礼と共に今後の参加を期待して報告を終えたい。(吉田輝男 記)

